

Welcome to 五高 library

The door to the books

4月

こんにちは！ 図書委員会です。

新しい年度が始まりました。

今月は、図書館をもっと身近に感じてもらえるように、
いろいろなコーナーや昨年度一番貸し出された本を紹介します。
お気に入りの一冊を見つけに、ぜひ図書館へ来てください。

令和8年度
五島高校：図書委員会
3月15日作成
4月15日発行

旧図書委員作成
2-5
2-5
2-6
2-6

令和6年度
文部科学大臣表彰
子供の読書活動優秀実践校

イラストレーション部担当
3-4

図書館の穴場はこれだ！

映画情報コーナー

最近の映画フライヤーを展示・配布しています。東になっているチラシは、自由に持ち帰りOK！気になる映画情報をいち早くキャッチしてお気に入りの1枚をゲットしてください。原作本も一緒に借りてみてくださいね。



ふるさとコーナー

私たちの長崎や地元・五島の歴史や文化、自然に関する本がたっぷり！「五島の魅力って何だろう？」と迷ったとき、きっとヒントをくれるはずです。探究学習の心強い味方として、ぜひ活用してください。



3年生受験応援コーナー

3年生にとって勝負の1年がやってきました。みなさんの努力を全力でサポートするため、面接・小論文対策・問題集はもちろん、効率的な勉強法のガイド本なども置いています。静かに自分と向き合える最高の「合格への拠点」です。



令和7年度貸出蔵書 小説ベスト10

R7.4.1~R8.3.31 まで

順位	書名	著者名	出版社
1	成瀬は信じた道をいく	宮島 未奈	新潮社
2	謎の香りはパン屋から	土屋 うさぎ	宝島社
3	変な家	雨穴	飛鳥新社
4	たとえ声にならなくても、君への想いを叫ぶ。	小春 りん	スターツ出版
5	夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く	汐見 夏衛	スターツ出版
6	かがみの孤城	辻村 深月	ポプラ社
7	いつか、眠りにつく日	いぬじゅん	スターツ出版
8	この夏の星を見る	辻村 深月	KADOKAWA
9	世界が私を消していく	丸井 とまと	スターツ出版
10	近畿地方のある場所について	背筋	KADOKAWA

新聞コーナー

日々の出来事を客観的に捉える力は、これからの社会で、とても大切になります。信頼できる情報が詰まった新聞は、自分の考えを深める最高のツールです。みんなで討論すると面白いですよ！



図鑑コーナー

「図鑑=子どものもの」と思っていますか？今の図鑑は進化しています。ネット検索では辿り着けない専門的で、体系的な知識が1冊にまとまっています。眺めているだけでも知的好奇心がくすぐられるものばかりです。



漫画コーナー

「図書館で漫画？」と思うかもしれませんが、実はここには名作や話題作が詰まっています！ストーリーに引き込まれながら、歴史や科学、社会問題について自然に学べるのが漫画のすごいところ。あの超~有名な人気漫画たちがみなさんを待っています。



「こどもの読書週間」のお知らせ

4/23~5/12 まで全国実施

標語 「ことばがきみのはねになる」



〈作者のことば〉 子どものころ、祖父が開いていた小さな本屋さんが大好きでした。たくさんの本とことばが、私の羽根になって、未来へ連れて行ってくれたように感じています。今度は、みなさんの番です。

図書室の本が、みなさん一人ひとりの羽根となって、まだ見たことのない世界へと羽ばたく力になりますように。

勉強のヒントや、進路の悩みにこたえてくれる1冊も、きっとここに 있습니다。本との出会いをどう広げる？答えは、ちょっと気になる1冊を手にとってみる、その小さな一歩かもしれません。この図書だよりが、みなさんと新しい本との出会いを繋ぐきっかけになれば嬉しいです。 図書委員一同

Best friend

高校生活の中で、「なんでも話せる親友」はなかなか見つからないかもしれません。でも、本の中には、いつも静かにそばにいてくれる「ベストフレンド」がいます。ページを開けば、いつでも会いに行ける「本の友だち」は、新しい一歩を踏み出す勇気もくれます。進級・進学での新しい出会いや、4月の体育祭で友達が増えるきっかけにもなるはず。今月は、友だちとの関係や、一歩踏み出す勇気をくれる物語を集めました。図書館で、あなたの心に寄りそう一冊を探してみてください。



ビブリア古書堂の事件手帖
著者:三上 延
出版社:KADOKAWA

人付き合いが苦手な青年が、古書店の女性店主と関わる中で少しずつ変わっていく連作ミステリーです。大きな勇気ではなく、日常の中の「小さな一歩」を積み重ねていく感じが、私たちにも身近に感じられます。

夜のピクニック
著者:恩田 陸
出版社:新潮社



高校最後の「歩行祭」を舞台に、一晩かけて友だちと歩きながら、本音を打ち明けていく青春小説です。言えなかった一言を伝える勇気や、関係を変える一歩を踏み出す怖さと爽快感が素直に描かれています。行事シーズンにもぴったりです。



君の臍臓をたべたい
著者:住野 よる
出版社:双葉社

他人と距離を置いて生きている主人公「僕」と明るく自由奔放な少女・山内桜良の交流を描いた物語です。桜良は重い病気を抱えており、その秘密を偶然知ってしまった「僕」との限られた時間の中で、心を通わせていきます。衝撃的なタイトルとは裏腹に、生と死、そして人との繋がりの大切さを優しく描いた切なく温かい作品です。



島はぼくらと
著者:辻村 深月
出版社:講談社

舞台は瀬戸内海にある小さな島。そこに暮らす高校生4人の友情や成長、そして旅立ちを描いた爽やかな青春小説です。単なる美しい田舎の話ではなく、過疎化、未婚の母への視線、地域活性の難しさなど、島の「今」を多面的に描かれています。

かがみの孤城
著者:辻村 深月
出版社:ポプラ社

学校に居場所をなくした中学生たちの再生を描いた、辻村深月さんの最高傑作と言えます。学校に行けない苦しみや孤独を抱える子供たちの心に寄り添う、優しくも力強い筆致が光ります。「本当の理由」を知った時、涙なしには読めません。



最高のともだち
著者:草野 たき
出版社:講談社

イタリアの貧しい街で育ったおとなしい「エレナ」と、天才肌で自由な「リラ」2人は親友だけれど、憧れ・嫉妬・競争がずっと入り混じっている関係性。子供時代から大人になるまで、「ともだちって支え?それともライバル?」っていう、とてもリアルな関係性が描かれる物語です。中学入試にも取り上げられた、多感な時期にぴったりの1冊です。

この夏の星を見る
著者:辻村 深月
出版社:KADOKAWA



2020年、新型コロナウイルス感染症の流行により、あらゆる行事が中止になった夏が舞台です。「あの時」の記憶、同じ空を見上げる絆、大人たちの視点に注目しながら、同じ高校生たちの熱量に感動してください。

バッテリー
著者:あさの あつこ
出版社:KADOKAWA



ピッチャーとして強い才能を持つ彼に惚れたキャッチャーが、ぶつかり合いながら最強の「バッテリー」に成長していく熱い野球小説です。友情や葛藤、思春期の心の揺れがリアルに描かれています。2人の初対決のシーンや物語の結末が気になる方は、ぜひ読んでみてください。



図書館からのお知らせ

図書館のキャッチフレーズ
「そうだ!図書館へ行こう」
~月に1回1冊以上本を借りよう~
昨年度の全校貸出冊数は
3,008冊でした。